

ウィズ レポート

Vol. 12

一般社団法人くらしサポート・ウィズ　東京都新宿区大久保2-3-4 出光新宿ビル4階　TEL:03-6205-6719　FAX:03-3200-6134　https://www.kurashidial.or.jp/　2026年5月発行

2025年度を振り返って

2025年度はくらしの相談が2,471件（月平均206件）、居住支援の相談としては169件（月平均14件）あり、「協同の深化」を意識した協同組合・関連団体との連携による「相談事業」「居住支援事業」「若者支援事業」の3事業の推進をすすめました。
また、パルシステムグループでは「地域福祉政策」の協議が進み、現在のウィズへの委託事業として進めているくらしの相談、居住支援、奨学金事業がパルシステムグループの地域福祉政策の中に明確に位置づけられました。新型コロナウイルスによるパンデミック以降、ウィズの活動は大きく広がりましたが、今年度はさらにその事業基盤を再確認できた年になりました。

2026年度は法人創立から20年となる節目の年

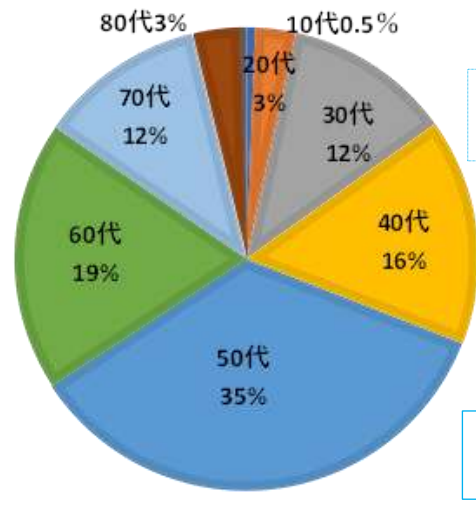
生活者の不安や困りごとは社会情勢の混乱にも影響を受けながら多様化・複雑化しています。多重債務者の生活再生自立支援という社会的課題の解決に向け2006年に設立された生活サポート生活協同組合・東京は、2016年に一般社団法人くらしサポート・ウィズとして再出発しました。
法人創立から今日に至るまでの背景や目的を振り返り、これからさらに様々な団体との連携を基盤とした生活者視点での支援を推進していくことを見据え、2026年度は「創立20年を迎え、原点に立ち返りながら新たな「協同」の推進とくらしの課題解決にチャレンジする」ことを基調方針として事業をすすめます。

相談事業

2025年度は2,471件の相談がありました

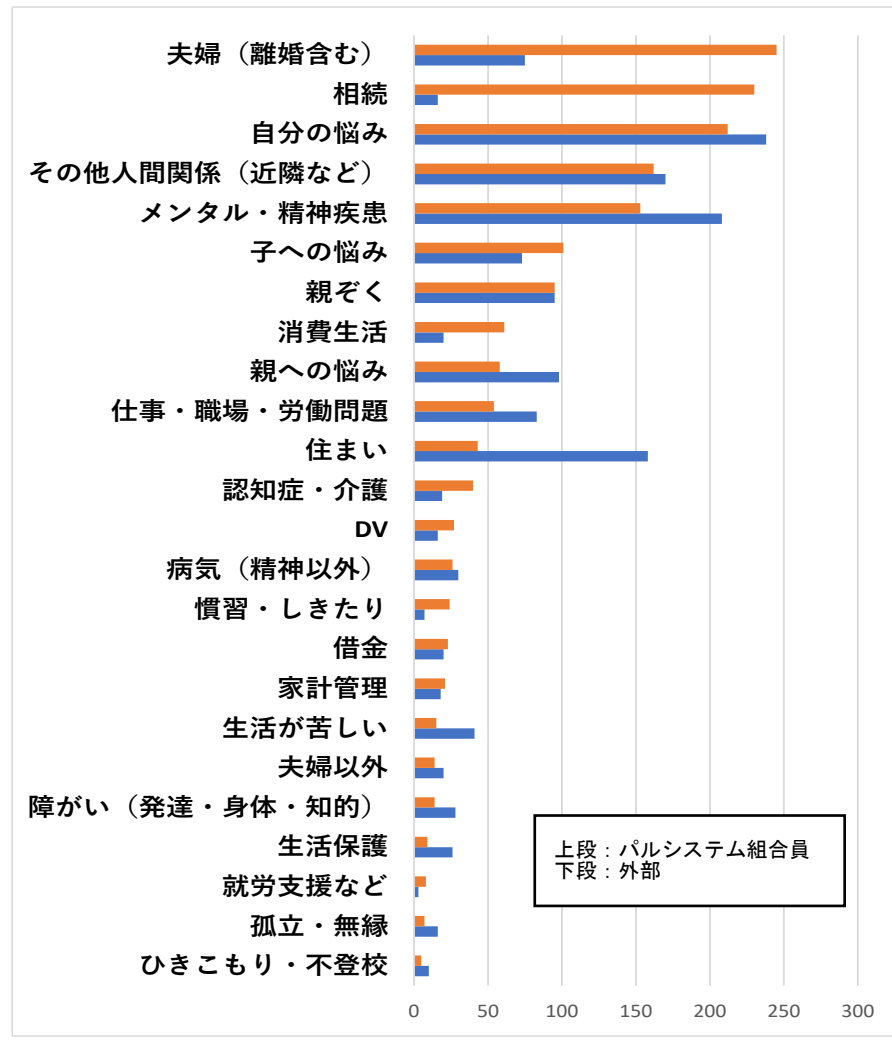


夫婦や親族関係、自分自身への悩みなどの相談は引き続き多くありました。
親の介護や相続を機に、兄弟や親族で話し合いが進まないなど、問題解決が必要な事象に、人間関係のトラブルや感情が絡み複雑化しているケースは多くみられます。投資詐欺や事故などの相談が以前より増えたように感じています。また、50代が最も多い年代ではありますが、若年層からの相談、70代以上の高齢者からの相談も増えています。
法律相談では、相続や離婚についての相談が多くありますが、成人した子どもの借金や離婚の問題、相続放棄に関する相談などもありました。



←2025年度
相談者の年代

2025年度キーワード
ランキング（重複付与）↓



オンライン学習会
「熟年離婚をする前に知っておきたい大切なこと」

講師：田中記代美弁護士
（くらしの相談ダイヤル離婚・DV相談担当）

当法人主催による学習会を12月10日に開催しました。
申し込みは各地域から70名、当日参加は54名となり、50代が66%と最多でしたが、30代～70代まで幅広い年代の参加がありました。

ひきこもり女子会@パルシステム

生きづらさを抱えた女性を対象とした当事者会として、8年目の取り組みとなりました。パルシステム東京、パルシステム埼玉に協賛いただき、3回開催し、のべ44名の参加がありました。
フジテレビ「ノンストップ！」への取材協力を行い、「ノンストップ！サミット」の令和のひきこもり事情のコーナーでは「ひきこもり女子会@パルシステム」が紹介されました。

居住支援事業

住まい探し＆住まい活用に困った方のお手伝い

東京都知事指定第22号　住宅確保要配慮者居住支援法人

居住支援相談　2025年度169件（前年度142件）

うち、住まい探し相談は148件あり、民間賃貸住宅等への入居が決まった方は16件でした。

死後事務委任契約に基づく残置物処理業務にはじめて取り組みました

1年前、自宅はあるが生活が苦しく多重債務に陥ってしまった方から居住支援の相談がありました。
自宅の売却、賃貸住宅への転居をサポートし、入居後も支援も継続していました。



半年前、病床に伏され入院先から死後事務や遺言についての相談がありました。
ご本人の意向は「形見分けしたい」「残置物処理、原状回復、契約解除など事務全般を依頼したい」ということでした。

相談
- 弁護士、公証人役場等を手配

契約
- ウィズと死後事務委任契約締結
- 公証人による公正証書遺言作成
- 弁護士が遺言執行者として関与

逝去
- 弁護士より死後事務開始の依頼
- 家財整理は専門業者へ再委任
- 公共料金やパルシステム等解約
- 形見分け品を希望先へ送付
- 残置物や書類・貴重品を弁護士へ送付
- 賃貸物件を解約

2025年施行の「改正住宅セーフティネット法」では残置物処理等業務が居住支援法人の役割として位置付けられました。ウィズでは法改正後、東京都へ当該規程の申請をし、2月に認可されました。

一般社団法人全国居住支援法人協議会　事務局

居住支援法人の活動支援や国・行政機関と課題協議



2025年度も引き続き居住支援法人の研修会開催等の活動支援や国・行政機関との課題についての協議、調査・研究等に取り組みました。

要望書提出

12月18日に国土交通省住宅局、厚生労働省社会・援護局、老健局、12月26日に法務省保護局に要望書（提言）を提出しました。
三省連携した協議の場の継続した体制づくりや、相談機関の専門職等に対する人材育成の強化と居住支援法人の活用等について要望を伝えました。






調査・研究事業

包括的居住支援の確立及び実現に向けた調査研究

公益社団法人車両競技公益資金記念財団の支援事業として、住宅セーフティネット法改正など、過去6年間の居住支援の制度拡充に貢献しながら調査等を進めてきました。活動の総括として、包括的居住支援の社会実装に向けた成果と今後の課題について取りまとめ、報告書とブックレット3冊を作成しました。
ブックレットは全居協ホームページから閲覧できます。







1冊目「居住支援法人のつくりかた」
2冊目「残置物処理を含んだ死後事務委任等のやりかた」
3冊目「居住サポート住宅のつくりかた」

その他の活動
※国土交通省補助事業

- 居住支援研修会※
- 居住支援地域連携強化研修会※
- 居住支援法人設立・運営支援アドバイス事業※
- 居住支援法人活動の普及拡大に向けた調査事業※
- 支援付き住宅の事業構造調査事業※
- 地域拠点整備事業
- 居住支援における残置物処理業務改正法施行直前セミナー



会員数は2025年度末416会員になりました。

若者支援事業

若者が自分らしく、社会で活躍するために、様々な取り組みで応援しています

＊＊つながりインターンシップ@協同＊＊

くらしサポート・ウィズ主催事業

2025年度「協同を学ぶ」インターンシップ12期目は5大学から学生18名が参加し、生協、労働金庫、労協、NPO等に分かれて実習を行いました。（協力：大学教員、シンクタンク研究員、日本協同組合連携機構）*2025年度もつながりインターンシップ@協同は、ＣＯ・ＯＰ共済 地域ささえあい助成の協賛をうけています。

2025年度はCO・OP共済 地域ささえあい助成の協賛（３年目）を受けることができ、助成金を活用して本プログラムの創設から現在に至るまでのあゆみを記録した冊子作成と関西エリアでの実施を後押ししました。

これまでの取り組み実践を記録に残す冊子『「協同」を体験する仕組みづくり』作成

冊子は受入団体や大学関係者に送付をしました。





大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会（OCoNoMiおおさか）での実施に向けた協力

摂南大学学部から5名参加があり、３月４日に摂南大学枚方キャンパスで報告会が行われました。
◆実習先：大阪よどがわ市民生協、いずみ市民生協、大阪府森林組合、こくみん共済コープ

＊＊奨学金伴走支援＊＊

共同事務局として支えています

一般財団法人パルシステム若者応援基金が運営するパルシステム給付型奨学金制度は、2025年度85名の奨学生を支援しました。ウィズは共同事務局として、報告書のとりまとめ、伴走支援団体連絡会議の運営、調整等をいました。

2025年度は伴走支援団体から「奨学生に対する居住支援」の相談があり、事務局として不動産会社等への交渉や緊急連絡先の協力を行い、アパートの確保につながったケースもありました。

＊＊首都圏若者サポートネットワークとの連携事業＊＊

共同事務局として、主に就労キャリア支援、政策提言に関わっています

「社会的養護下に暮らす子どもたちなどの多様な自立を、伴走者と共に支援することで、自分の人生を切り開く一助とすること」を目的に活動しているネットワーク組織です。

第8回若者おうえん基金

一般向けのクラウドファンディング、生活クラブの組合員向けカンパ等により集まった基金で、伴走支援枠（7団体・25人）先駆的実践枠（4団体）を社会的養護下の若者等を支える団体に助成をしました。

就労キャリア支援

協同組合への体験就労のマッチング・就労支援をおこなっています。 ウィズは東京のコーディネーター業務を受託。
2025年度体験就労プログラムへは、9件の新規応募があり、保育園やデイサービス、店舗や配送センター等で体験が終了しました。体験後に就労につながったケースは1件ありました。

2025年度　職員研修報告

①ウィズで働くことの意義や仲間への理解、自身の気づきを深めること ②知識や活動の情報を得て、事業に生かす知見を広げることなどを目的に、職員研修を毎年行っています。

◆11月29日（土）対面研修
「生活困窮者自立支援制度の今～座間市の『断らない相談支援』に学ぶ～」
講師に座間市福祉部参事兼地域福祉課長の林星一さんをお招きし、制度開始以降、他部署や関係団体との連携の中で積まれてきた実践や課題について学びました。





◆3月28日（土）オンライン研修
「カスタマーハラスメント対策について」
基本方針（3月24日制定）の確認、マニュアル（案）への意見交換を行いました。
職員の感想「これまでは、こちらの対応が悪かったのかと負い目を感じることもあったが、今回不当や過剰な要求は受け入れる必要がないという線引きの重要性、対応を制限して良いという方針を学び、精神的負担が大きく変わることを実感した。」

理事長のつぶやき



理事長　渡邊たかし

前回のウィズレポートでは就任直後ということもあって、「新たな学びを積み重ねています」とお伝えしました。そして、就任から10ヶ月が経ちました。日々、起きることが新鮮で、刺激を受ける毎日です。ただし、お役に立っているという実感には至っておらず、「まだまだ修行が足りないなあ～」と感じています。
さて、新年度を迎えました。
新しい気持ちでと思いつつ、日々、ニュースで流れてくるウクライナ、パレスチナ、そしてイラン（だけではない）でおきていることに、自分自身為す術がないことに心が揺らぎます。
戦争が経済の話にすり替わったり、誰が敵・味方なのかとか、何だかおかしな状態になっていることの違和感。どう考えても「いのち」の問題なのにと。くらしや仕事に追われる中で、だんだん慣れてしまう自分がいることにも気持ち悪さを感じます。私は、生協（協同組合）で育ててもらい、今があります。だからこそ、この違和感から目を背けないようにしようと、今、出来る事は何だろうかと考えることを大事にしていこうと思っています。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

事務所の移転について
2026年度中に現在の出光新宿ビルからの移転を予定しています。
転居先が決まりましたら改めてお知らせいたします。

2025年度会員のみなさま

◇正会員◇
パルシステム生活協同組合連合会
日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会
生活クラブ生活協同組合・東京
生活協同組合パルシステム東京
パルシステム共済生活協同組合連合会
生活協同組合パルシステム神奈川
一般社団法人生活サポート基金
生活協同組合パルシステム埼玉
生活クラブ共済事業連合生活協同組合連合会

◇賛助会員◇
株式会社パルライン
協同組合ＪＡＳＭＥＱ
ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン
株式会社パルシステム・リレーションズ
生活協同組合パルシステム千葉
生活協同組合パルシステム茨城 栃木
生活協同組合パルシステム群馬
生活協同組合パルシステム福島
生活協同組合パルシステム静岡
生活協同組合パルシステム山梨 長野
株式会社あんど
一般社団法人生活経済政策研究所
社会福祉法人ふきのとうの会
株式会社ロジカル
城南信用金庫
生活クラブ生活協同組合・神奈川
一般社団法人日本協同組合連携機構
株式会社東京コールドチェーン
株式会社パルシステム・イースト
特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川

◇個人賛助会員◇
40名

みなさまのご支援とご協力に心より感謝いたします



◆◇◆ご支援･賛助会員のおしらせ◆◇◆
＊賛助会員募集中
個人　一口1,000円／年
法人　一口10,000円／年
会員のみなさまへは総会議案書でウィズの詳しい事業報告をお届けします。
＊ご寄付も喜んで受け付けています！

ウィズの最新情報は
ホームページをご覧ください